2025
No.56

あさひむら 議会だより

『好き・やってみたい！』の花 たくさん咲かせてね

緊張の入学式に向かう新入生と家族のみなさんを取材。
色とりどりのランドセルの中には、これから始まる新生活への期待と不安がいっぱい詰まっていることでしょう。
朝日小学校で過ごす６年間、たくさんのことに出会い『好き・やってみたい！』の花を咲かせてほしい。みんなが楽しみにしているおいしい給食をたくさんたべて健やかに、元気に育つことを願って…

もくじ

- ３月定例会 …… 2
- 臨時会・全員協議会 …… 3
- 委員会報告 …… 4
- 一般質問　村政を問う …… 5～9
- 議員活動報告・議員活動日誌 …… 10～11
- 村民の声・我がむら再発見・編集後記 …… 12

●「議会だより」第 56 号
発行日／2025年4月30日
発　行／朝日村議会
〒390-1188　長野県東筑摩郡朝日村大字古見1555番地1
TEL.0263-99-2001（代）
FAX.0263-99-2745
Eメール：gikai@vill.asahi.nagano.jp
印　刷／川越印刷株式会社

令和7年度一般会計

診療所建設・賃貸住宅整備・小学校給食棟改修等

過去最高の大型予算43億1,000万円

3月定例会

3/4～14

3月定例会が3月4日（火）から14日（金）までの11日間開催された。

初日、小林村長は令和7年度の所信と施政方針の中で、任期が折り返しとなる新年度を迎えるにあたり、2年間の振り返りと今後2年間の抱負を述べた。

今議会では令和7年度当初予算案を含め次の議案が提出され全議案を原案どおり可決した。

当初予算は、中組西住宅団地造成のための土地開発公社への貸付金1億5,800万円・公的賃貸住宅整備事業（1棟5戸）2億5,150万円・小学校長寿命化事業（給食棟等工事）2億5,143万円等大型事業があり過去最高の予算規模となった。

- 条例15件……施設使用料等の変更に伴う関係条例の整理に関する条例
  朝日村福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例ほか
- 予算14件……令和6年度補正予算1億6,010万円を減額し、41億5,910万円とするもの
  （決算見込精査による減額、防災用備品購入費、戸籍システム改修業務委託等）
  令和7年度当初予算一般会計予算43億1,000万円
  （前年度比14.8%の増）
- 認定1件　……村道路線の認定について
- その他3件　……指定管理者の指定2件、工事請負変更契約の締結について
- 発議1件　……持続可能な学校の実現をめざす意見書
- 同意1件　……教育長任命同意
- 陳情5件採択……業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について陳情書ほか
  「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情書

当初予算 全員協議会質疑

令和7年度予算の重点テーマ

- 医療体制の維持
- 人口確保対策
- 公共施設老朽対策
- ゼロカーボン（GX）推進

地方債の見込みについて

問　地方債ではなく、基金の活用はできないか。

答　地方債を活用するのは住民負担の世代間の公平のため、また地方交付税の措置を受けることができるため。

消防団デジタル化事業240万円

問　何ができるようになるのか。

答　水利台帳を整備し水利の確認ができる。また消防団員はアプリで出動命令確認や出動報告ができる。

移住定住促進事業2041万円

問　移住定住の取組みは。

答　地域おこし協力隊を含め、移住フェア等でPRしている。今後R6年度に作成した移住ガイドを活用する。

松くい虫防除対策3382万円

問　7年度の進め方は。

答　西洗馬方面の樹種転換を検討し、ドローンでの高精度の画像解析を活用し、伐倒くん蒸処理も進める。

人事案件（教育長任命に同意）

教育長　**百瀬　司郎氏**（再任）

【任期】
令和7年4月1日～令和10年3月31日まで

選挙管理委員・補充員選挙

任期満了に伴う選挙。（指名推薦）

○委員
- 矢野下敬司氏
- 高橋　良二氏
- 清澤　末季氏
- 平野　圭二氏

○補充員
- 藤森　勝氏
- 清沢　潤子氏
- 清澤　睦子氏
- 宮田　久乃氏

【任期】
令和7年3月27日～令和11年3月26日まで

一般会計当初予算についての質疑

最終日には議案第 36 号令和７年度一般会計予算について豊田恵美子議員から質疑があった。

質　　問　経済活動が活性化していた時期と同じような大型投資をし、必要時に必要な予算執行ができないのではないかと不安。景観維持や防護柵管理等村の予算で対応しなければならない時期が来るのではないか。また教育人材等、人材への投資は今後どう考えるか。

小林村長　財政計画により 10 年先を見ながら財政運営をしていく。防護柵等の検討はしていく。必要な人材は確保し費用を投じていく。

臨時会 1/15・2/18

1月15日(水)に第1回臨時会が2月18日(火)に第2回臨時会が招集され、上程されたすべての議案を原案どおり可決した。

【第1回臨時会】

- 条例3件 …… 人事院勧告に準じた議会議員・特別職、一般職の職員の給与改定により、関連した条例改正。
  朝日村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例等
- 予算4件 …… **一般会計補正予算（第7号）6,900万円追加**
  条例改正に伴う、報酬・給与等ほか
- 財産の取得…… 公営住宅建物1棟2戸

【第2回臨時会】

- 予算…… **一般会計補正予算（第8号）**
  重点支援地方交付金（令和6年度低所得世帯支援枠）997万円。
  住民税非課税世帯への3万円/世帯給付、及び子ども加算2万円/人

全員協議会

1月15日

- **賃貸型集合住宅整備事業の進捗**
  基本設計に時間を要したため、スケジュール変更について説明。
- **かたくりの里指定管理**
  指定管理者募集要領等についての説明。
- **各種計画**
  総合計画・地域きずな計画・第3次教育大綱・子ども計画・中央公民館周辺施設再編計画

2月18日

- **新しい地方経済・生活環境創成交付金（地域防災緊急整備）**
  R6国の補正予算で創設された交付金。避難所で使用する防災備品整備の説明。
- **朝日村消防団ビジョン**
  消防団が策定するビジョンの目的、内容等の説明。
- **総合計画後期基本計画**
  パブリックコメント等の報告。
- **朝日村診療所の進捗**
  土地取得や設計等を進めていると報告。
- **大尾沢浄水場建設事業**
  工事変更について（増額・工期延長）説明。
- **小学校給食棟工事に伴う給食対応**
  次年度の給食棟工事による給食対応の説明。

3月8日（議員のみ）

- **選挙管理委員・補充員選挙**
  3月定例会最終日の選挙についての調整。

3月14日

- **朝日村人材育成基本方針**
  職員の人材育成・確保についての方針を説明。
- **各種計画**
  公共施設個別施設計画・国土強靭化計画・地域きずな計画（最終案）
- **村公式ホームページのリニューアル**
- **民生児童委員改選について**
  令和7年度改選。

議会運営委員会報告　議員と語ろう会・モニター会議開催

2月15日（土）17時から18時30分まで「議員と語ろう会」を開催、村民5名の参加をいただき2グループに分かれて、有意義な懇談会が開催できました。（詳しくはP11をご覧ください）

2月18日（火）19時から議会モニター会議を開催、参加モニター1名でしたが12月と3月の議会定例会と議会だよりへのアドバイスをいただきました。

議会運営委員長　清沢　正毅

総務産業委員会報告　陳情審査

委員会は３月７日（金）に開催し、陳情第１号「業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化についての陳情書」、陳情第２号「価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定についての陳情書」、陳情第３号「建築士事務所賠償保険への加入についての陳情書」、陳情第４号「2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充についての陳情書」の４件について慎重に審議しました。

最低制限価格の設定により、建築士の労働環境を守ること。今まで以上に住民が活用しやすい助成制度の拡充を望むことから、いずれの陳情も採択すべきものとしました。

定例会最終日に、村当局へ陳情の趣旨を賢察の上、検討いただけるよう要望を行いました。

総務産業委員長　齊藤　正法

社会文教委員会報告　陳情等審査

3月7日（金）に開催した本委員会に付託された陳情は、長野県教職員組合松塩筑支部から提出された「持続可能な学校の実現をめざす意見書」の採択を求める陳情書1件でした。

陳情理由は、現在、学校現場は教員希望者の減少、病気休職者や早期退職者の増加により深刻な教員不足となっており、子どもたちの学びに支障を及ぼしています。中央教育審議会の「審議のまとめ」をふまえた、教師の処遇改善、学校での働き方の改革を行っているところではあるが、具体的な業務削減、教員定数改善、長時間労働の是正など改革が進んでいない状況がある。更なる学校の働き方改革推進のため、意見書を政府及び関係行政官庁あてに提出して欲しいとの内容でした。

委員会では、先生方の長時間労働が社会問題化していること、深刻な教員不足が子どもたちの学びに大きな支障が出ていることは身近でも感じていることであり、この陳情の趣旨は十分に理解できることから、全会一致で「採択すべきもの」としました。

社会文教委員長　中村　文映

任期折返しとなりました

残り２年間、住民の代表としてより一層尽力してまいります。

『議員と語ろう会』での意見-全議員で熟議

4月2日（水）全議員で「積極的な意見交換と共有」を目的に、「議員と語ろう会」で村民の皆さんからいただいた意見について意見交換を行った。

結論を出さず、言いっ放しの自由な発言で、議員同士が互いの意見を学び、共有する機会とした。

①人口対策と朝日村の魅力発信

村の人口目標3100人を議員がどう伝えていくか。住民福祉政策が着実に実施されることで村の良さが発信されていく。空き家対策は最重要課題ほか、多様な意見を共有した。

②区未加入問題

定例会での一般質問に対し、村は住民と共に地区の在り方を検討すると回答。地区で様々な工夫、交流がもたれている等情報交換した。

（豊田恵美子）

一般質問 村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をただすものです。

◀こちらから動画でご覧いただけます。

ここが聞きたい　9議員15項目

清沢正毅　議員（5頁）
1 村政2期目の折返し期における小林村長の政治姿勢

清沢敬子　議員（6頁）
1 「人・自然・産業が輝き、夢・希望・笑顔あふれる朝日村」めざす村の姿をどう作る?
2 防犯対策について

齊藤正法　議員（6頁）
1 朝日村消防団ビジョンについて

中村文映　議員（7頁）
1 「個別最適な学び」の実現にむけて
2 協働のむらづくりと地区組織について

羽多野美映　議員（7頁）
1 学び・仕事・住まいを支える村の支援策について
2 村長公約を踏まえた保育支援の方向性について
3 冬季における消火用水の確保と対応について

豊田恵美子　議員（8頁）
1 朝日村の水資源について
2 消防団の現状と課題について

清澤あゆみ　議員（8頁）
1 子どもも大人も学び続ける村を目指して～教育長6年間の成果と課題は?～

古池美佐江　議員（9頁）
1 地区自治会について

小林弘之　議員（9頁）
1 越川副村長就任後のミッションの達成状況と課題、今後の取組みについて
2 高齢者の福祉・介護サービスについて

清沢正毅 議員

二期目折返しを迎えての村長の政治姿勢

答 困難な課題に対しても積み残しせず前向きに取り組んで行く

問　融和集会が21回開催され村長は村民と色々な事が共有できていると言われていますが、村政運営上何か役立つ成果が生まれているのか？

村長　村民からは聞きたいことが聞ける、知りたいことが知れると評価いただいている。成果として代表的なものは、移動販売車の実現、道路の安全にかかわる支障木の早期撤去などがある。

問　融和集会の後半は趣向を変えて開催との事だが、どんな形で取組むのか？

村長　地区に出向いた方が大なり小なりいろんな意見が聞ける。後半は役場では行わず地区に出向いた出前村政的な融和集会に取組みたい。

問　村内で常会組織を解散した地区がある。地区未加入問題や今後の地区活動のあり方などは、長年大きな課題でいつも先延ばしになっている。この課題に対し副村長を長として行政内に研究会を立ち上げ「あるべき姿」を追求すべきと考えるが村長の考えは？

村長　地区組織は大災害時に近隣が連携を保ち命を守る組織として大変重要である。こうした考えを基盤に次世代を担う若者にも加わってもらい、研究会を立ち上げあるべき姿を追求したい。

21回開催されている「融和集会」

清沢敬子 議員

住み続けたい笑顔あふれる朝日村に

答 総合計画に沿い一つひとつの積み重ねで住みやすい村ができる

問 希望を持ち幸せを感じて暮らせるためには？

村長 一番の課題、その家族が幸せになるためにはやはり働き口が必要。松本・塩尻だけではなく、村内にあることが必要である。村内企業から工場を倍にしたい。70人の雇用を考えている。との申し出があった。働き手が少ない時代だが、村として就業に関し協力していくとした。

問 地域コミュニティの崩れが生じているのでは？

村長 地域的な課題として、人口減少が原因と捉えている。新興住宅地は子育てが終わると高齢化が進み全国的に社会問題となっている。

問 住民との意見交換や情報公開の透明性を高め、信頼関係を構築する方策は？

村長 入三分館の休止、第三分団の廃止など活動は休止しているが、決してコミュニティは崩れていない。御道開渡地区で融和集会を開いたところ、とても参加率が良くて、結束力が高く「この地域を何とかしていこう！」という力強さを感じている。なので、こちらから出向いて「融和集会」や「出前村政」などを行っていく。解散したい地区では、「もう少し早く話し合いができればよかった」との意見があったので、実際の業務として各地区の皆さんと行政との繋がりを持って、未然に話し合っていく必要がある。

齊藤正法 議員

朝日村消防団ビジョンの目的は？

答 持続可能な消防団の育成と消防力の向上を目的とする

総務課長 消防団の抱える課題を明示化し、目指すべき将来像を明確にした。消防団によって策定され、策定後は村ＨＰに公開し広く周知する。

問 5年間で達成すべき目標は？

総務課長 消防団の定員充足率を、現在の79％から90％に引き上げる。団員数の減少、団員確保が困難な事が最重要課題と捉えている。毎年、実施内容を精査し、評価は住民へ公表する。

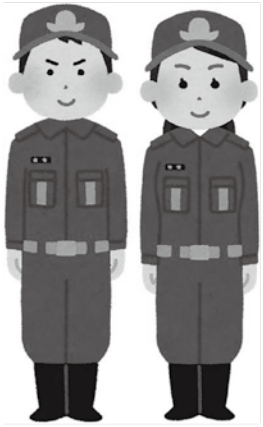
問 団員確保の負担軽減は？

総務課長 新入団員数は令和4年3名、令和5年3名、令和6年6人となっている。機能別団員の定員上限を撤廃し、機能別団員を増大する方針。消防団の現状を理解して頂き、区・地区で地域総ぐるみで取り組んで行きたい。

問 行政としての関わりは？

総務課長 第6次総合計画に沿って策定されており、消防団との連携は不可欠と考え、予算措置や例規の見直しに積極的に対応して行きたい。

村長 アクションを起こさないと課題が見えないため、まずは消防団ビジョンを作ってやってみる。また、消防団が作ったことに意義があると考えている。財政や企画的にも一緒にやっていき、粘り強く広報活動を行う。



中村文映 議員

一クラス20人～30人の少人数学級の実現を！

答 県や国の基準、村の財政、先生不足もあり現状では難しい

問 教育長が最善と考えるクラスの人数は。

教育長 個人的な見解だが一人ひとりに目が届くのは25人から30人だが、諸事情があり踏み切れないのが現状だ。

問 少人数学級実現について教育委員会では検討しているのか。

教育長 検討はしているが国や県の基準があり、更に教員不足もあり難しい。

問 村長は少人数学級実現を公約にしませんか。

村長 教員採用や財政負担もあり、教育委員会と行政のテーマとして研究していく。

村政運営上「地区」は必要か？

企画財政課長 住民協働を行政とともに一緒にやっていくため、絶対必要だ。今は住民と行政に距離がある。今後は距離を縮め住民協働を進めて行きたい。

問 地区が無くなって困るのは行政ではないか。

村長 SNSやインターネットが無かった時代は、地区が住民に大事な情報を確実に伝えるため必要だったが、現在はLINEやメール等5つの情報伝達手段がある。今大切なのは、万が一大地震や大災害が起きた時スムーズに住民の安心安全を確認できるかだ。

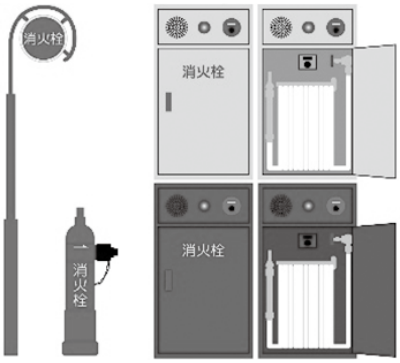
羽多野美映 議員

火災時の村内消火水利は充分か

答 基準以上の間隔で消火栓配置が行われ、水利確保できている

問 一般的な火災に対し、村内消火栓は基準を満たしているか

総務課長 平均的な住宅150平米あたりの必要消火水量は毎分750～1500ℓ。村内消火栓一基当たり許容放水量は最大3500ℓ。村内配置消火栓は244基、消火栓が不足する地域を賄うために貯水槽97基。消火栓の基準範囲半径250mあたりに一基という基準で村内は半径140mに一基配置され、基準以上の配置ができている。



奨学金返還補助制度、若者の暮らしを支える制度へ

問 令和4年に行った質問、以後の進捗は？

企画財政課長 検討してこなかった。

問 若者を中心とした施策として検討すべきでは

企画財政課長 どういうものがあれば若者が帰ってくるか、整理して政策に結び付けたい。子育て、住宅など、様々なものを総合的に整え、目が向く施策として各課連携して検討を進めたい。

保育園施策、村長公約としてどう進めるか？

問 2歳児無償化手ごたえは？

保育園長 手ごたえと効果を感じているが、0～1歳児の無償化の見通しはさまざまな要因を慎重に検討する段階にある。代わりになる施策も検討に時間をかける必要がある。

豊田惠美子 議員

小水力発電事業は着工しない？

答 小水力発電は一旦休止せざるを得ない。が、検討は続けたい

問 小水力発電事業の着工はないか。

村長 今年一月、事業者からの文書で、着工は一旦休止となった。が、小水力については検討を続けたい。

問 野俣沢キャンプ場周辺、鎖川の景観自然環境の保全を目的に、村の条例で抑制区域にする予定はあるか。

建設環境課長 ここは、条例の抑制区域と同じ効果で法令により保護されている。

問 村の水資源は大丈夫か。

建設環境課長 大尾沢水源地取水量見通し等から、西洗馬付近で調査している水源は、水の安定供給を図るため機能させる予定だ。

問 村の水源、大尾沢水源地は民有地だが、今後村はどう対応するのか。

村長 村有地への、お願いの交渉を続ける。村有地にすることは大事だ。

問 水道水は安全か。ピーファス、マイクロプラスチックはどうか。

建設環境課長 ピーファスは検査の結果大丈夫だ。マイクロプラスチックは、大尾沢浄水場で除外できている。

問 食肉公社を誘致して、地下水量は、何十年と保障できるのか。

企画財政課長 公社が責任を持つことになる。

野俣沢キャンプ場

清澤あゆみ 議員

教育長6年間の成果と課題は？

答 最も大きな成果は教育大綱を策定したこと

問 特に力を入れた施策は？

教育長 小学校の給食費の無償化・高校生の通学支援補助・2歳児の保育料無償化。学びの場を広げるための中学生の未来塾、英語にふれる環境づくり。小学校のコミュニティスクールの立ち上げ。

問 教育長が考える地域の特色、自然環境を生かした教育方針は？

教育長 冬季のスケートやスキーはもとより、地域に根差した体験・学習をすすめていく。それには村民のみなさんに少しでも多く関わってもらうことが必要。今後も地域の方々の協力をいただきながら子ども主体の教育に尽力していきたい。

問 村民の学びや交流の場としての公民館の役割をどう考える？

教育長 体育祭は分館対抗型から自主参加型にした。コロナ禍を経て公民館事業を楽しむ村民のみなさんの姿が見られた。やはり公民館事業は必要と考えるが、役員の負担軽減等はかりながら、時代の変化に合わせた事業の見直しを検討していく。中学生の部活動地域移行を控え、公民館が中学生やあらゆる世代の交流の場となり居場所となるように取り組んでいきたい。

学びの場「未来塾」

古池美佐江 議員

自治会加入率はどのくらいか

答 地区の相違はあるが全村では81・2%である

問 スタービレッジ地区が三月をもって地区解散をすることを未だに議会で説明がなされないのは何故か。

企画財政課長 今後の同地区の取り組み内容の報告を待っており、まだ回答がないため説明を控えている。

問 地区解散に至るまでには、新興住宅団地間での経緯があったが、村は把握していたか。

村長 十数年前からのことで、把握していなかったと思う。

問 集落支援員はスタービレッジ地区の状況を把握しているべきだったと思うが、報告はあったのか。

企画財政課長 支援員が把握していたかは不明。知っていたかもしれないが、私に報告は届いていない。

問 地区加入を啓発する活動をしてるか。

総務課長 昨年度から転入手続き時に自主防災会のチラシと共に地区加入案内をしている。各地区長から新規加入と脱会の報告を文書で受けるようにし、現在では地区加入数を把握している。

問 村が必要と考える地区の役職は何か。

総務課長 負担軽減を図るために、地区長・安協理事・日赤奉仕団の三つをお願いしている。

小林弘之 議員

高齢者福祉・介護サービスは？

答 一番の問題は介護員の不足

問 令和7年には高齢者率35・3%に達すると予測され今後もさらなる高齢化が見込まれている。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えることが求められ、特に介護予防の推進や高齢者の見守り体制の強化は持続可能な福祉施策として重要な課題。取組みの成果と課題は。

住民福祉課長 毎年の実施結果は介護保険運営協議会へ報告し翌年度への事業の取組みを見直す事もあるが、継続していく事も大切と考えている。オレンジカフェとシニアランチを一緒に開催したことで現在のオレンジランチの取組みへと変わり毎月開催する中、一回開催に50名を超える参加があり交流、社会参加の場として発展してきた事業がある。

問 一人暮らしの高齢者、高齢者世帯の見守りの強化。

住民福祉課長 今後は益々地域の方や民生児童委員また長野県で取組んでいる高齢者等の地域見守り活動への参加事業者の協力による気づきと警察や消防署、介護保険サービス事業者や社会福祉協議会など市町村とのネットワークが大切になってくると捉えている。

問 2025年問題は？

村長 朝日村も加入している松塩筑木曽老人福祉施設組合、松塩安筑老人福祉施設組合があり一番の問題は介護員がいない新しい人が入ってこない。介護員に応じて施設側入居者が絞られる非常に大きな社会問題で状況しだい検討していく。

デイサービスセンター　かたくりの里

議員活動報告

地域を目で見て聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさんの諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主な活動について報告します。

1/22 議会広報研修会

1月22日に広報アドバイザーの金井茂樹氏により「伝わる議会報の企画と編集」と題して研修会が行われた。議会だよりをより良くするための研修会である。読者（村民）に何を伝えてどうなってもらいたいのか。村民のみなさんに理解・納得してもらうには何をどのように伝えればいいのか。関心をもって手に取ってもらいやすくするには、また読みやすく理解しやすい紙面にするにはどのように作り上げていけばいいのか。議会報は聞きなれない言葉、難しい内容も多いため、編集・構成の仕方が大事。配布された他市町村の議会だよりには、表紙の作り方をはじめ、文字の大きさ、行間、スペースの使い方、色の使い方などが工夫されており、今後の議会だよりの作成に参考となる内容だった。

（清澤 あゆみ）

2/6 東筑摩郡村議会議員交流会

2月6日、東筑摩郡村議会議員交流会が生坂村で開催されました。

「身体を動かし心身ともにリフレッシュして交流を深めよう」という趣旨のもと、B&G海洋センター体育館で軽スポーツを楽しみました。

準備体操

指導者は松本山雅FCの小林洋介さん・上田将太郎さんのお二人。タオルを使って身体をほぐしながらボール運動へと移行。最後は4チームに分かれ、2つのサッカーボールを使ってのウォーキングサッカー。勝負がかかると走らないルールを忘れる場面も多々。

ウォーキングサッカーで交流

1ゲーム5分と短かったにもかかわらず、長い!と感じ、日頃の運動不足も自覚したひとときでした。怪我しなくて良かった。

（古池美佐江）

2/7 商工会役員と朝日村議会議員との懇談会

2月7日、商工会役員16名と、議員との懇談会が行われた。現在、会員数は104名。新規加入に力を入れているが、30社ほどが未加入。

事業者の現状は、コロナ後、売上げは上がってきている。しかし、物価高騰、特にガソリン価格の上昇、電気料金・ガス料金など光熱費の上昇により経費が重くのしかかる。それに加え、人手不足に伴う人件費の上昇・賃上げ対応などで、利益が上がらず、経営状況は厳しい状態が続いている。企業が持続可能な事業運営を行うためには、コスト上昇分を適切に価格転嫁することは重要だが、難しいとのことだった。

商工会の皆様が、元気に活躍されていることが、朝日村の発展に繋がっている。朝日村大博覧会やボランティアなど日頃からの活動に感謝をし、後押ししていきたい。

（清沢 敬子）

議会活動日誌

1月

1 水　新年交通安全祈願祭
6 月　新年祝賀会
9 木　議会運営委員会
11 土　消防団出初式
12 日　二十歳のつどい
15 水　第1回臨時会・全員協議会　3P
17 金　松本地域正副議長談話会　11P
　　第2回空家等対策協議会
20 月　広域施設組合視察（20~21）
22 水　町村議会広報研修会　10P
23 木　松本広域連合議会運営委員会
28 火　農業振興地域整備促進協議会
31 金　松塩地区施設組合議会運営委員会

2月

1 土　差別をなくし人権を擁護する推進協議会・講演会
3 月　松本広域連合定例会
4 火　松塩筑木曽施設組合議会運営委員会
6 木　東筑摩郡議会議員交流会
7 金　商工会との懇談　10P
10 月　総合計画審議会
　　土地開発公社理事会
12 水　県議長会役員会
13 木　松本地域公共交通会議・協議会
14 金　松塩地区施設組合定例会
15 土　第2回議員と語ろう会　11P
　　議会運営委員会
17 月　鉢盛中学校組合議会
　　松塩筑木曽施設組合議会定例会
18 火　第2回臨時会・全員協議会　3P
19 水　県議長会定期総会
25 火　議会運営委員会
28 金　行政改革推進委員会
　　総合計画答申

3月

4 火　3月定例会開会　本会議・全員協議会　2P
7 金　常任委員会　4P
11 火　本会議　一般質問
14 金　本会議閉会・全員協議会
17 月　土地開発公社理事会
18 火　中信平右岸土地改良区60周年記念式典
　　小学校卒業式
　　議会モニター会議
19 水　男女共同参画審議会
　　環境保全協議会
21 金　朝日村防災会議
　　森林経営管理制度検討委員会
24 月　あさひ保育園卒園式
25 火　健康村推進協議会
　　東筑摩郡議長会総会

「議員の皆さん、むらの良さを語って」

～第２回村民の皆さん「議員と語ろう会」報告～

議会では「議員と語ろう会」を2月15日（土）に開催しました。回覧板と一緒に地区長さんにお願いをして各戸にチラシを配布させていただきましたが、残念ながら参加者は5名と少なめでした。また、参加者全員が男性で女性の参加は無く、開催方法や開催時間、テーマなども含めて今後のあり方の検討が必要だと感じる会となりました。

しかし、参加者からは鋭い意見を沢山頂く。3年前に東京から移住された方からは開口一番「議員の皆さん村の良さ、魅力をすぐ言えますか。私は言えますよ」と先制パンチを頂いた。おっとそう来たか!個人的には村の魅力をSNSで結構な頻度で発信してはいるが、ストレートに問われると頭の中が大渋滞、何をどう答えたらいいのやら…何とも情けない。

人口減少対策でも素敵なキーワードを頂いた。それは『普通に生活している人が家を持てる朝日村』松本や塩尻にも近い、スカイパークやアイシティ21、ツルヤにも近いのに地価が安い、大きな魅力だと。なるほど、“ない”事ばかりに目が行きがちな議員活動、大いに刺激を頂いた懇談会となりました。

（中村 文映）

2/17　松本地域正副議長懇話会

2月17日、松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡5村の正副議長が集まり松本地域正副議長懇話会が塩尻市で行われた。この会は、生活圏域の広域化に伴い、村議会議員が周辺市村の諸問題を共有し、連携を高め、住民の負託に応えることを目的に毎年開催されている。

地域の人口減少が進む中、塩尻市で地域の人材課題の解決に取り組んでいる塩尻市のNPO法人MEGURU代表の横山暁一さんの講演も行われた。行政・商工会・金融機関・学生が提携し「人材育成・確保・定着」を目指す取り組みの紹介があり、各市村共通の課題であることから興味深く学ぶことが多かった。今後も広域の連携を深め、共通の課題解決に目を向けていきたい。

（北村直樹）

塩尻市で開催

村民の声

針尾区長
清水　司さん

川と針尾区

針尾区長の拝命を受け一年経とうとしています。

地域では西沢に県営砂防えん堤事業が決定し、事業が近々始まる予定です。近隣の方々には少しでも土砂災害の心配がなくなり安心です。また、昨年鎖川上流に、小規模発電施設が予定された時も、水の流れが変わり水路の水量が少なくなることを心配をし、区の水について考える機会となりました。そして、区の役割りは、針尾水路の管理を担っています。田植えの時期には、水の調整や砂利上げをしたり、川の草刈りや清掃、スケートリンクへの水の管理をしていますが、一年間を通して中々大変な作業だと思いました。

針尾地区の現在の戸数では、約190戸、人数では約520人。

5年前は、人口約620人で減少していて、空き家がだいぶ見受けられます。隣近所の付き合いや様々な行事、集まりがなくなってきているので、災害など起きた時心配です。

これからは、行政と区で取り組んでいきたいと思います。

我がむら再発見！

村内の施設やイベントに議員が訪問して
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第24弾「カンロ株式会社 朝日工場」

工場エントランスの自動ドア、一歩足を踏み入れると、甘い香りがふわりと迎えてくれる。首都圏からの流通の利便性、温度や湿度の影響が少ないなど、適地として朝日村に工場を新設して 15 年となる今年、工場増設を発表。2027 年 7 月稼働開始を目標に、グミの生産体制を強化する。

毎年 11 月の創業記念日前後には、村へアメやグミを寄贈し、子どもから大人まで「カンロのアメとグミ」は身近なおやつとして親しまれている一方で、工場内には見学通路がなく、村民が工場見学をする機会がなかった。昨年初めて、朝日小と保育園の子供たちを招き、グミを作る体験などを試みると、子どもたちの想像を超える反応に職員は驚き、楽しみ、良い交流ができたとのこと。

増設する工場は新たに 60 名ほどの雇用も生まれそうで、名実ともに朝日村の顔となる企業の一つとして、今後の発展に期待したい。

※工場の詳細については、次号の議会だよりで特集予定。

（羽多野　美映）

工場長 山本隆さん

工場内で製造されているグミ

編集後記

春です。別れと出会いの季節。ふとした時に『出会いは偶然、別れは必然』―大学を去る恩師が学生時代の私たちに残してくれた言葉を思い出します。人やモノとの出会いから多くを学び、それが生きる糧となります。たとえ別れが訪れても、そこで得た経験や思いは、いつかどこかで花を咲かせる。私たちは、そんなふうに人生を歩んでいるのかもしれません。一期一会の出会いを大切に、大いに学び、大いに楽しみたい―そんなスタートの季節です。

（羽多野 美映）

発行責任者　議　長　北村　直樹
編集委員　委員長　小林　弘之
副委員長　羽多野美映
委　員　中村　文映
清澤あゆみ
清沢　正毅

▲こちらから朝日村議会のホームページをご覧いただけます

朝日村議会へご意見をお寄せください